

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科１年制学科（夜間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	３単位			
授業回数	４５回			
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	１	オリジナルテキスト	31	社債Ⅰ①（入門編）
	2	固定資産Ⅰ②（入門編）	32	社債Ⅰ②（入門編）
	3	固定資産Ⅰ③（入門編）	33	社債Ⅰ③（入門編）
	4	固定資産Ⅰ④（入門編）	34	社債Ⅰ④（入門編）
	5	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	35	社債Ⅰ⑤（入門編）
	6	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	36	社債Ⅰ⑥（入門編）
	7	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	37	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	8	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	38	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	9	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	39	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	10	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	40	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	11	ソフトウェアⅠ①（入門編）	41	有価証券Ⅰ①（入門編）
	12	ソフトウェアⅠ②（入門編）	42	有価証券Ⅰ②（入門編）
	13	債権債務Ⅰ①（入門編）	43	有価証券Ⅰ③（入門編）
	14	債権債務Ⅰ②（入門編）	44	有価証券Ⅰ④（入門編）
	15	債権債務Ⅰ③（入門編）	45	確認テスト
	16	貸倒れⅠ①（入門編）		
	17	貸倒れⅠ②（入門編）		
	18	貸倒れⅠ③（入門編）		
	19	退職給付会計Ⅰ①（入門編）		
	20	退職給付会計Ⅰ②（入門編）		
	21	退職給付会計Ⅰ③（入門編）		
	22	退職給付会計Ⅰ④（入門編）		
	23	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）		
	24	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）		
	25	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）		
	26	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）		
	27	税金Ⅰ①（入門編）		
	28	税金Ⅰ②（入門編）		
	29	税金Ⅰ③（入門編）		
	30	税金Ⅰ④（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（基礎編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（基礎編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（基礎編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（基礎編）
	5	現金預金Ⅰ①（基礎編）
	6	現金預金Ⅰ②（基礎編）
	7	現金預金Ⅰ③（基礎編）
	8	債権債務Ⅰ①（基礎編）
	9	債権債務Ⅰ②（基礎編）
	10	商品売買Ⅰ①（基礎編）
	11	商品売買Ⅰ②（基礎編）
	12	商品売買Ⅰ③（基礎編）
	13	給料等Ⅰ①（基礎編）
	14	給料等Ⅰ②（基礎編）
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科１年制学科（夜間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	４単位			
授業回数	６０回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	１	税効果会計Ⅰ①（入門編）	31	外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）
	２	税効果会計Ⅰ②（入門編）	32	外貨建会計Ⅰ⑥（入門編）
	３	税効果会計Ⅰ③（入門編）	33	リース会計Ⅰ①（入門編）
	４	税効果会計Ⅰ④（入門編）	34	リース会計Ⅰ②（入門編）
	５	税効果会計Ⅰ⑤（入門編）	35	リース会計Ⅰ③（入門編）
	６	税効果会計Ⅰ⑥（入門編）	36	リース会計Ⅰ④（入門編）
	７	税効果会計Ⅰ⑦（入門編）	37	リース会計Ⅰ⑤（入門編）
	８	税効果会計Ⅰ⑧（入門編）	38	リース会計Ⅰ⑥（入門編）
	９	現在価値計算Ⅰ①（入門編）	39	試用販売Ⅰ①（入門編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（入門編）	40	試用販売Ⅰ②（入門編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（入門編）	41	試用販売Ⅰ③（入門編）
	12	保険金Ⅰ①（入門編）	42	試用販売Ⅰ④（入門編）
	13	保険金Ⅰ②（入門編）	43	試用販売Ⅰ⑤（入門編）
	14	保険金Ⅰ③（入門編）	44	試用販売Ⅰ⑥（入門編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）	45	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）	46	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）	47	割賦販売Ⅰ③（入門編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（入門編）	48	割賦販売Ⅰ④（入門編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編）	49	割賦販売Ⅰ⑤（入門編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編）	50	割賦販売Ⅰ⑥（入門編）
	21	減損会計Ⅰ①（入門編）	51	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	22	減損会計Ⅰ②（入門編）	52	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	23	減損会計Ⅰ③（入門編）	53	未着品販売Ⅰ③（入門編）
	24	減損会計Ⅰ④（入門編）	54	未着品販売Ⅰ④（入門編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（入門編）	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（入門編）	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（入門編）	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（入門編）	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（入門編）	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）			
履修年次	1 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4 単位			
授業回数	6 0 回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31	貸倒れⅠ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32	貸倒れⅠ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	33	貸倒れⅠ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）	34	退職給付会計Ⅰ①（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）	35	退職給付会計Ⅰ②（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）	36	退職給付会計Ⅰ③（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）	37	退職給付会計Ⅰ④（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）	38	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）	39	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）	40	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）	41	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）	42	税金Ⅰ①（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）	43	税金Ⅰ②（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）	44	税金Ⅰ③（入門編）
	15	給料等Ⅰ③（入門編）	45	税金Ⅰ④（入門編）
	16	固定資産Ⅰ①（入門編）	46	社債Ⅰ①（入門編）
	17	固定資産Ⅰ②（入門編）	47	社債Ⅰ②（入門編）
	18	固定資産Ⅰ③（入門編）	48	社債Ⅰ③（入門編）
	19	固定資産Ⅰ④（入門編）	49	社債Ⅰ④（入門編）
	20	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	50	社債Ⅰ⑤（入門編）
	21	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	51	社債Ⅰ⑥（入門編）
	22	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	52	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	23	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	53	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	24	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	54	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	25	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	55	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	26	ソフトウェアⅠ①（入門編）	56	有価証券Ⅰ①（入門編）
	27	ソフトウェアⅠ②（入門編）	57	有価証券Ⅰ②（入門編）
	28	債権債務Ⅰ①（入門編）	58	有価証券Ⅰ③（入門編）
	29	債権債務Ⅰ②（入門編）	59	有価証券Ⅰ④（入門編）
	30	債権債務Ⅰ③（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）			
履修年次	1 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4 単位			
授業回数	6 0 回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①（基礎編）	31	外貨建会計Ⅰ⑤（基礎編）
	2	税効果会計Ⅰ②（基礎編）	32	外貨建会計Ⅰ⑥（基礎編）
	3	税効果会計Ⅰ③（基礎編）	33	リース会計Ⅰ①（基礎編）
	4	税効果会計Ⅰ④（基礎編）	34	リース会計Ⅰ②（基礎編）
	5	税効果会計Ⅰ⑤（基礎編）	35	リース会計Ⅰ③（基礎編）
	6	税効果会計Ⅰ⑥（基礎編）	36	リース会計Ⅰ④（基礎編）
	7	税効果会計Ⅰ⑦（基礎編）	37	リース会計Ⅰ⑤（基礎編）
	8	税効果会計Ⅰ⑧（基礎編）	38	リース会計Ⅰ⑥（基礎編）
	9	現在価値計算Ⅰ①（基礎編）	39	試用販売Ⅰ①（基礎編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（基礎編）	40	試用販売Ⅰ②（基礎編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（基礎編）	41	試用販売Ⅰ③（基礎編）
	12	保険金Ⅰ①（基礎編）	42	試用販売Ⅰ④（基礎編）
	13	保険金Ⅰ②（基礎編）	43	試用販売Ⅰ⑤（基礎編）
	14	保険金Ⅰ③（基礎編）	44	試用販売Ⅰ⑥（基礎編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（基礎編）	45	割賦販売Ⅰ①（基礎編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（基礎編）	46	割賦販売Ⅰ②（基礎編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（基礎編）	47	割賦販売Ⅰ③（基礎編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（基礎編）	48	割賦販売Ⅰ④（基礎編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（基礎編）	49	割賦販売Ⅰ⑤（基礎編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（基礎編）	50	割賦販売Ⅰ⑥（基礎編）
	21	減損会計Ⅰ①（基礎編）	51	未着品販売Ⅰ①（基礎編）
	22	減損会計Ⅰ②（基礎編）	52	未着品販売Ⅰ②（基礎編）
	23	減損会計Ⅰ③（基礎編）	53	未着品販売Ⅰ③（基礎編）
	24	減損会計Ⅰ④（基礎編）	54	未着品販売Ⅰ④（基礎編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（基礎編）	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（基礎編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（基礎編）	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（基礎編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（基礎編）	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（基礎編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（基礎編）	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（基礎編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（基礎編）	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（基礎編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（基礎編）	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論基礎Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	固定資産Ⅰ①（基礎編）
	2	固定資産Ⅰ②（基礎編）
	3	固定資産Ⅰ③（基礎編）
	4	固定資産Ⅰ④（基礎編）
	5	ソフトウェアⅠ①（基礎編）
	6	ソフトウェアⅠ②（基礎編）
	7	ソフトウェアⅠ③（基礎編）
	8	債権債務Ⅰ①（基礎編）
	9	債権債務Ⅰ②（基礎編）
	10	貸倒れⅠ①（基礎編）
	11	貸倒れⅠ②（基礎編）
	12	退職給付会計Ⅰ①（基礎編）
	13	退職給付会計Ⅰ②（基礎編）
	14	退職給付会計Ⅰ③（基礎編）
	15	退職給付会計Ⅰ④（基礎編）
	16	税金Ⅰ①（基礎編）
	17	税金Ⅰ②（基礎編）
	18	社債Ⅰ①（基礎編）
	19	社債Ⅰ②（基礎編）
	20	社債Ⅰ③（基礎編）
	21	社債Ⅰ④（基礎編）
	22	純資産会計Ⅰ①（基礎編）
	23	純資産会計Ⅰ②（基礎編）
	24	純資産会計Ⅰ③（基礎編）
	25	純資産会計Ⅰ④（基礎編）
	26	有価証券Ⅰ①（基礎編）
	27	有価証券Ⅰ②（基礎編）
	28	有価証券Ⅰ③（基礎編）
	29	有価証券Ⅰ④（基礎編）
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	本支店会計 I ①（入門編）
	2	本支店会計 I ②（入門編）
	3	本支店会計 I ③（入門編）
	4	本支店会計 I ④（入門編）
	5	本支店会計 I ⑤（入門編）
	6	本支店会計 I ⑥（入門編）
	7	組織再編会計 I ①（入門編）
	8	組織再編会計 I ②（入門編）
	9	組織再編会計 I ③（入門編）
	10	組織再編会計 I ④（入門編）
	11	建設業会計 I ①（入門編）
	12	建設業会計 I ②（入門編）
	13	連結会計 I ①（入門編）
	14	連結会計 I ②（入門編）
	15	連結会計 I ③（入門編）
	16	連結会計 I ④（入門編）
	17	製造業会計 I ①（入門編）
	18	製造業会計 I ②（入門編）
	19	製造業会計 I ③（入門編）
	20	製造業会計 I ④（入門編）
	21	キャッシュ・フロー計算書 I ①（入門編）
	22	キャッシュ・フロー計算書 I ②（入門編）
	23	キャッシュ・フロー計算書 I ③（入門編）
	24	キャッシュ・フロー計算書 I ④（入門編）
	25	繰延資産 I ①（入門編）
	26	繰延資産 I ②（入門編）
	27	圧縮記帳 I ①（入門編）
	28	圧縮記帳 I ②（入門編）
	29	ストック・オプション I （入門編）
	30	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科１年制学科（夜間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	２単位	
授業回数	３０回	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	１	税効果会計Ⅰ①（入門編）
	２	税効果会計Ⅰ②（入門編）
	３	税効果会計Ⅰ③（入門編）
	４	現在価値計算Ⅰ①（入門編）
	５	現在価値計算Ⅰ②（入門編）
	６	保険金Ⅰ①（入門編）
	７	保険金Ⅰ②（入門編）
	８	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）
	９	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）
	10	減損会計Ⅰ①（入門編）
	11	減損会計Ⅰ②（入門編）
	12	資産除去債務Ⅰ①（入門編）
	13	資産除去債務Ⅰ②（入門編）
	14	外貨建会計Ⅰ①（入門編）
	15	外貨建会計Ⅰ②（入門編）
	16	外貨建会計Ⅰ③（入門編）
	17	リース会計Ⅰ①（入門編）
	18	リース会計Ⅰ②（入門編）
	19	試用販売Ⅰ①（入門編）
	20	試用販売Ⅰ②（入門編）
	21	試用販売Ⅰ③（入門編）
	22	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	23	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	24	割賦販売Ⅰ③（入門編）
	25	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	26	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	27	未着品販売Ⅰ③（入門編）
	28	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	29	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	30	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科１年制学科（夜間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	６単位	
授業回数	９０回	
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	１	現金預金Ⅱ①（入門編）
	２	債権債務Ⅱ①（入門編）
	３～５	商品売買Ⅱ①～③（入門編）
	６～８	固定資産Ⅱ①～③（入門編）
	９～１１	退職給付会計Ⅱ①～③（入門編）
	１２～１３	債権債務Ⅱ①～②（入門編）
	１４	税金Ⅱ①（入門編）
	１５～１７	社債Ⅱ①～③（入門編）
	１８～２０	純資産会計Ⅱ①～③（入門編）
	２１～２３	有価証券Ⅱ①～③（入門編）
	２４～２５	外貨建会計Ⅱ①～②（入門編）
	２６～２７	リース会計Ⅱ①～②（入門編）
	２８～２９	試用販売Ⅱ①～②（入門編）
	３０～３２	割賦販売Ⅱ①～③（入門編）
	３３～３４	未着品販売Ⅱ①～②（入門編）
	３５～３６	委託販売・受託販売Ⅱ①～②（入門編）
	３７～３８	本支店会計Ⅱ①～②（入門編）
	３９～４０	組織再編会計Ⅱ①～②（入門編）
	４１～４２	連結会計Ⅱ①～②（入門編）
	４３～４４	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①～②（入門編）
	４５～５０	項目別答練①～⑥（入門編）
	５１～６０	基礎答練①～⑩（入門編）
	６１～７０	応用答練①～⑩（入門編）
	７１～８０	過去問演習①～⑩（入門編）
	８１～８９	問題演習実践①～⑨（入門編）
	９０	模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論総合Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）		
履修年次	1 年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
単位数	6 単位		
授業回数	9 0 回		
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1～6	本支店会計Ⅰ①～⑥（入門編）	75～77 基礎答練①～③（入門編）
	7～10	組織再編会計Ⅰ①～④（入門編）	78～80 応用答練①～③（入門編）
	11～12	建設業会計Ⅰ①～②（入門編）	81～85 過去問演習①～⑤（入門編）
	13～16	連結会計Ⅰ①～④（入門編）	86～89 問題演習実践①～④（入門編）
	17～20	製造業会計Ⅰ①～④（入門編）	90 模擬試験
	21～24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①～④（入門編）	
	25～26	繰延資産Ⅰ①～②（入門編）	
	27～28	圧縮記帳Ⅰ①～②（入門編）	
	29～30	ストック・オプションⅠ①～②（入門編）	
	31	現金預金Ⅱ①（入門編）	
	32	債権債務Ⅱ①（入門編）	
	33～35	商品売買Ⅱ①～③（入門編）	
	36～37	固定資産Ⅱ①～②（入門編）	
	38～39	退職給付会計Ⅱ①～②（入門編）	
	40～41	債権債務Ⅱ①～②（入門編）	
	42	税金Ⅱ①（入門編）	
	43～44	社債Ⅱ①～②（入門編）	
	45～46	純資産会計Ⅱ①～②（入門編）	
	47～48	有価証券Ⅱ①～②（入門編）	
	49～50	外貨建会計Ⅱ①～②（入門編）	
	51～52	リース会計Ⅱ①～②（入門編）	
	53～54	試用販売Ⅱ①～②（入門編）	
	55～56	割賦販売Ⅱ①～②（入門編）	
	57～58	未着品販売Ⅱ①～②（入門編）	
	59～60	委託販売・受託販売Ⅱ①～②（入門編）	
	61～62	本支店会計Ⅱ①～②（入門編）	
	63～64	組織再編会計Ⅱ①～②（入門編）	
	65～66	連結会計Ⅱ①～②（入門編）	
	67～68	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①～②（入門編）	
	69～74	項目別答練①～⑥（入門編）	
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論速習基礎Ⅰ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）		
履修年次	1年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
単位数	3単位		
授業回数	45回		
授業概要	簿記の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31 退職給付会計Ⅰ④（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32 税金Ⅰ①（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	33 税金Ⅰ②（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）	34 社債Ⅰ①（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）	35 社債Ⅰ②（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）	36 社債Ⅰ③（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）	37 純資産会計Ⅰ①（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）	38 純資産会計Ⅰ②（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）	39 純資産会計Ⅰ③（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）	40 純資産会計Ⅰ④（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）	41 有価証券Ⅰ①（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）	42 有価証券Ⅰ②（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）	43 有価証券Ⅰ③（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）	44 有価証券Ⅰ④（入門編）
	15	固定資産Ⅰ①（入門編）	45 確認テスト
	16	固定資産Ⅰ②（入門編）	
	17	固定資産Ⅰ③（入門編）	
	18	固定資産Ⅰ④（入門編）	
	19	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	
	20	ソフトウェアⅠ①（入門編）	
	21	ソフトウェアⅠ②（入門編）	
	22	債権債務Ⅰ①（入門編）	
	23	債権債務Ⅰ②（入門編）	
	24	債権債務Ⅰ③（入門編）	
	25	貸倒れⅠ①（入門編）	
	26	貸倒れⅠ②（入門編）	
	27	貸倒れⅠ③（入門編）	
	28	退職給付会計Ⅰ①（入門編）	
	29	退職給付会計Ⅰ②（入門編）	
	30	退職給付会計Ⅰ③（入門編）	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習応用 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）			
履修年次	1 年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4 単位			
授業回数	6 0 回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計 I ①（入門編）	31	外貨建会計 I ⑤（入門編）
	2	税効果会計 I ②（入門編）	32	外貨建会計 I ⑥（入門編）
	3	税効果会計 I ③（入門編）	33	リース会計 I ①（入門編）
	4	税効果会計 I ④（入門編）	34	リース会計 I ②（入門編）
	5	税効果会計 I ⑤（入門編）	35	リース会計 I ③（入門編）
	6	税効果会計 I ⑥（入門編）	36	リース会計 I ④（入門編）
	7	税効果会計 I ⑦（入門編）	37	リース会計 I ⑤（入門編）
	8	税効果会計 I ⑧（入門編）	38	リース会計 I ⑥（入門編）
	9	現在価値計算 I ①（入門編）	39	試用販売 I ①（入門編）
	10	現在価値計算 I ②（入門編）	40	試用販売 I ②（入門編）
	11	現在価値計算 I ③（入門編）	41	試用販売 I ③（入門編）
	12	保険金 I ①（入門編）	42	試用販売 I ④（入門編）
	13	保険金 I ②（入門編）	43	試用販売 I ⑤（入門編）
	14	保険金 I ③（入門編）	44	試用販売 I ⑥（入門編）
	15	新株予約権付社債 I ①（入門編）	45	割賦販売 I ①（入門編）
	16	新株予約権付社債 I ②（入門編）	46	割賦販売 I ②（入門編）
	17	新株予約権付社債 I ③（入門編）	47	割賦販売 I ③（入門編）
	18	新株予約権付社債 I ④（入門編）	48	割賦販売 I ④（入門編）
	19	新株予約権付社債 I ⑤（入門編）	49	割賦販売 I ⑤（入門編）
	20	新株予約権付社債 I ⑥（入門編）	50	割賦販売 I ⑥（入門編）
	21	減損会計 I ①（入門編）	51	未着品販売 I ①（入門編）
	22	減損会計 I ②（入門編）	52	未着品販売 I ②（入門編）
	23	減損会計 I ③（入門編）	53	未着品販売 I ③（入門編）
	24	減損会計 I ④（入門編）	54	未着品販売 I ④（入門編）
	25	資産除去債務 I ①（入門編）	55	委託販売・受託販売 I ①（入門編）
	26	資産除去債務 I ②（入門編）	56	委託販売・受託販売 I ②（入門編）
	27	外貨建会計 I ①（入門編）	57	委託販売・受託販売 I ③（入門編）
	28	外貨建会計 I ②（入門編）	58	委託販売・受託販売 I ④（入門編）
	29	外貨建会計 I ③（入門編）	59	委託販売・受託販売 I ⑤（入門編）
	30	外貨建会計 I ④（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科１年制学科（夜間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	３単位			
授業回数	４５回			
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	１	本支店会計Ⅰ①（入門編）	31	商品売買Ⅱ②（入門編）
	２	本支店会計Ⅰ②（入門編）	32	固定資産Ⅱ①（入門編）
	３	本支店会計Ⅰ③（入門編）	33	固定資産Ⅱ②（入門編）
	４	本支店会計Ⅰ④（入門編）	34	退職給付会計Ⅱ①（入門編）
	５	本支店会計Ⅰ⑤（入門編）	35	退職給付会計Ⅱ②（入門編）
	６	本支店会計Ⅰ⑥（入門編）	36	試用販売Ⅱ①（入門編）
	７	組織再編会計Ⅰ①（入門編）	37	試用販売Ⅱ②（入門編）
	８	組織再編会計Ⅰ②（入門編）	38	割賦販売Ⅱ①（入門編）
	９	組織再編会計Ⅰ③（入門編）	39	割賦販売Ⅱ②（入門編）
	10	組織再編会計Ⅰ④（入門編）	40	本支店会計Ⅱ①（入門編）
	11	建設業会計Ⅰ①（入門編）	41	本支店会計Ⅱ②（入門編）
	12	建設業会計Ⅰ②（入門編）	42	組織再編会計Ⅱ①（入門編）
	13	連結会計Ⅰ①（入門編）	43	組織再編会計Ⅱ②（入門編）
	14	連結会計Ⅰ②（入門編）	44	連結会計Ⅱ①（入門編）
	15	連結会計Ⅰ③（入門編）	45	確認テスト
	16	連結会計Ⅰ④（入門編）		
	17	製造業会計Ⅰ①（入門編）		
	18	製造業会計Ⅰ②（入門編）		
	19	製造業会計Ⅰ③（入門編）		
	20	製造業会計Ⅰ④（入門編）		
	21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編）		
	22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編）		
	23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編）		
	24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編）		
	25	繰延資産Ⅰ①（入門編）		
	26	繰延資産Ⅰ②（入門編）		
	27	圧縮記帳Ⅰ①（入門編）		
	28	圧縮記帳Ⅰ②（入門編）		
	29	ストック・オプションⅠ（入門編）		
	30	商品売買Ⅱ①（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論速習総合Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）		
履修年次	1 年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
単位数	3 単位		
授業回数	4 5 回		
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	項目別答練①（入門編）	31 過去問演習⑥（入門編）
	2	項目別答練②（入門編）	32 過去問演習⑦（入門編）
	3	項目別答練③（入門編）	33 過去問演習⑧（入門編）
	4	項目別答練④（入門編）	34 過去問演習⑨（入門編）
	5	項目別答練⑤（入門編）	35 過去問演習⑩（入門編）
	6	基礎答練①（入門編）	36 問題演習実践①（入門編）
	7	基礎答練②（入門編）	37 問題演習実践②（入門編）
	8	基礎答練③（入門編）	38 問題演習実践③（入門編）
	9	基礎答練④（入門編）	39 問題演習実践④（入門編）
	10	基礎答練⑤（入門編）	40 問題演習実践⑤（入門編）
	11	基礎答練⑥（入門編）	41 問題演習実践⑥（入門編）
	12	基礎答練⑦（入門編）	42 問題演習実践⑦（入門編）
	13	基礎答練⑧（入門編）	43 問題演習実践⑧（入門編）
	14	基礎答練⑨（入門編）	44 問題演習実践⑨（入門編）
	15	基礎答練⑩（入門編）	45 模擬試験
	16	応用答練①（入門編）	
	17	応用答練②（入門編）	
	18	応用答練③（入門編）	
	19	応用答練④（入門編）	
	20	応用答練⑤（入門編）	
	21	応用答練⑥（入門編）	
	22	応用答練⑦（入門編）	
	23	応用答練⑧（入門編）	
	24	応用答練⑨（入門編）	
	25	応用答練⑩（入門編）	
	26	過去問演習①（入門編）	
	27	過去問演習②（入門編）	
	28	過去問演習③（入門編）	
	29	過去問演習④（入門編）	
	30	過去問演習⑤（入門編）	
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門）
	2	個別注記表（入門）
	3	現金及び預金（入門）
	4	債権債務（入門）
	5	関係会社概念（入門）
	6	売上原価の算定（入門）
	7	貸倒れ（入門）
	8	給料等（入門）
	9	その他の引当金（入門）
	10	退職給付会計（入門）
	11	有形固定資産（入門）
	12	無形固定資産（入門）
	13	株主資本（入門）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）		
履修年次	1 年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
単位数	3 単位		
授業回数	4 5 回		
授業概要	会計基準の入門概要を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	売買目的有価証券（入門）	31 ゴルフ会員権（入門）
	2	満期保有目的の債券（入門）	32 売価還元法（入門）
	3	子会社株式・関連会社株式（入門）	33 製造業会計（入門）
	4	その他有価証券（入門）	34 研究開発費（入門）
	5	ソフトウェア（入門）	35 新株予約権（入門）
	6	法人税等・追徴還付（入門）	36 キャッシュ・フロー計算書（入門）
	7	現在価値計算（入門）	37 損益計算書総論（入門）
	8	社債（入門）	38 貸借対照表総論（入門）
	9	利益剰余金（入門）	39 資産総論（入門）
	10	自己株式（入門）	40 棚卸資産に関する会計基準（入門）
	11	配当（入門）	41 連続意見書（入門）
	12	外形基準、租税公課（入門）	42 引当金（入門）
	13	源泉所得税、社会保険料（入門）	43 会計観（入門）
	14	税効果会計（入門）	44 金融商品（入門）
	15	税効果注記（入門）	45 確認テスト(理論)
	16	源泉所得税、社会保険料（入門）	
	17	株主資本等変動計算書（入門）	
	18	減損会計（入門）	
	19	配当を受けた株主の処理（入門）	
	20	圧縮記帳（入門）	
	21	外貨建取引（入門）	
	22	退職給付会計簡便法（入門）	
	23	繰延資産（入門）	
	24	為替予約（入門）	
	25	仕入・売上げの計上基準（入門）	
	26	消費税等（入門）	
	27	他勘定振替（入門）	
	28	外貨建有価証券（入門）	
	29	リース会計（入門）	
	30	証券投資信託（入門）	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会計学の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（基礎）
	2	個別注記表（基礎）
	3	現金及び預金（基礎）
	4	債権債務（基礎）
	5	関係会社概念（基礎）
	6	売上原価の算定（基礎）
	7	貸倒れ（基礎）
	8	給料等（基礎）
	9	その他の引当金（基礎）
	10	退職給付会計（基礎）
	11	有形固定資産（基礎）
	12	無形固定資産（基礎）
	13	株主資本（基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（基礎）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）			
履修年次	1 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4 単位			
授業回数	6 0 回			
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）	31	純資産会計①（入門）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）	32	純資産会計②（入門）
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）	33	純資産会計③（入門）
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門）	34	純資産会計④（入門）
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（入門）	35	純資産会計⑤（入門）
	6	分配可能額①（入門）	36	企業結合会計①（入門）
	7	分配可能額②（入門）	37	企業結合会計②（入門）
	8	分配可能額③（入門）	38	企業結合会計③（入門）
	9	分配可能額④（入門）	39	企業結合会計④（入門）
	10	分配可能額⑤（入門）	40	企業結合会計⑤（入門）
	11	ストック・オプション①（入門）	41	事業分離会計①（入門）
	12	ストック・オプション②（入門）	42	事業分離会計②（入門）
	13	ストック・オプション③（入門）	43	事業分離会計③（入門）
	14	ストック・オプション④（入門）	44	事業分離会計④（入門）
	15	ストック・オプション⑤（入門）	45	事業分離会計⑤（入門）
	16	セール&リースバック①（入門）	46	四半期財務諸表①（入門）
	17	セール&リースバック②（入門）	47	四半期財務諸表②（入門）
	18	セール&リースバック③（入門）	48	四半期財務諸表③（入門）
	19	セール&リースバック④（入門）	49	四半期財務諸表④（入門）
	20	セール&リースバック⑤（入門）	50	四半期財務諸表⑤（入門）
	21	財務諸表等規則①（入門）	51	ヘッジ会計①（入門）
	22	財務諸表等規則②（入門）	52	ヘッジ会計②（入門）
	23	財務諸表等規則③（入門）	53	ヘッジ会計③（入門）
	24	財務諸表等規則④（入門）	54	ヘッジ会計④（入門）
	25	財務諸表等規則⑤（入門）	55	ヘッジ会計⑤（入門）
	26	負債①（入門）	56	包括利益①（入門）
	27	負債②（入門）	57	包括利益②（入門）
	28	負債③（入門）	58	包括利益③（入門）
	29	負債④（入門）	59	包括利益④（入門）
	30	負債⑤（入門）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）			
履修年次	1 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4 単位			
授業回数	6 0 回			
授業概要	会計学の入門・基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）	31	株主資本等変動計算書（入門・基礎）
	2	個別注記表（入門・基礎）	32	減損会計（入門・基礎）
	3	現金及び預金（入門・基礎）	33	配当を受けた株主の処理（入門・基礎）
	4	債権債務（入門・基礎）	34	圧縮記帳（入門・基礎）
	5	関係会社概念（入門・基礎）	35	外貨建取引（入門・基礎）
	6	売上原価の算定（入門・基礎）	36	退職給付会計簡便法（入門・基礎）
	7	貸倒れ（入門・基礎）	37	繰延資産（入門・基礎）
	8	給料等（入門・基礎）	38	為替予約（入門・基礎）
	9	その他の引当金（入門・基礎）	39	仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）
	10	退職給付会計（入門・基礎）	40	消費税等（入門・基礎）
	11	有形固定資産（入門・基礎）	41	他勘定振替（入門・基礎）
	12	無形固定資産（入門・基礎）	42	外貨建有価証券（入門・基礎）
	13	株主資本（入門・基礎）	43	リース会計（入門・基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）	44	証券投資信託（入門・基礎）
	15	売買目的有価証券（入門・基礎）	45	ゴルフ会員権（入門・基礎）
	16	満期保有目的の債券（入門・基礎）	46	売価還元法（入門・基礎）
	17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）	47	製造業会計（入門・基礎）
	18	その他有価証券（入門・基礎）	48	研究開発費（入門・基礎）
	19	ソフトウェア（入門・基礎）	49	新株予約権（入門・基礎）
	20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）	50	キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）
	21	現在価値計算（入門・基礎）	51	損益計算書総論（入門・基礎）
	22	社債（入門・基礎）	52	貸借対照表総論（入門・基礎）
	23	利益剰余金（入門・基礎）	53	資産総論（入門・基礎）
	24	自己株式（入門・基礎）	54	棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）
	25	配当（入門・基礎）	55	連続意見書（入門・基礎）
	26	外形基準、租税公課（入門・基礎）	56	引当金（入門・基礎）
	27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	57	会計観（入門・基礎）
	28	税効果会計（入門・基礎）	58	金融商品（入門・基礎）
	29	税効果注記（入門・基礎）	59	収益性の低下（入門・基礎）
	30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）			
履修年次	1 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4 単位			
授業回数	6 0 回			
授業概要	会計基準の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	売買目的有価証券（基礎）	31	ゴルフ会員権（基礎）
	2	満期保有目的の債券（基礎）	32	売価還元法（基礎）
	3	子会社株式・関連会社株式（基礎）	33	製造業会計（基礎）
	4	その他有価証券（基礎）	34	研究開発費（基礎）
	5	ソフトウェア（基礎）	35	新株予約権（基礎）
	6	法人税等・追徴還付（基礎）	36	キャッシュ・フロー計算書（基礎）
	7	現在価値計算（基礎）	37	損益計算書総論（基礎）
	8	社債（基礎）	38	貸借対照表総論（基礎）
	9	利益剰余金（基礎）	39	資産総論（基礎）
	10	自己株式（基礎）	40	棚卸資産に関する会計基準（基礎）
	11	配当（基礎）	41	連続意見書（基礎）
	12	外形基準、租税公課（基礎）	42	引当金（基礎）
	13	源泉所得税、社会保険料（基礎）	43	会計観（基礎）
	14	税効果会計（基礎）	44	金融商品（基礎）
	15	税効果注記（基礎）	45	純資産会計①（基礎）
	16	源泉所得税、社会保険料（基礎）	46	純資産会計②（基礎）
	17	株主資本等変動計算書（基礎）	47	純資産会計③（基礎）
	18	減損会計（基礎）	48	純資産会計④（基礎）
	19	配当を受けた株主の処理（基礎）	49	純資産会計⑤（基礎）
	20	圧縮記帳（基礎）	50	企業結合会計①（基礎）
	21	外貨建取引（基礎）	51	企業結合会計②（基礎）
	22	退職給付会計簡便法（基礎）	52	企業結合会計③（基礎）
	23	繰延資産（基礎）	53	企業結合会計④（基礎）
	24	為替予約（基礎）	54	企業結合会計⑤（基礎）
	25	仕入・売上げの計上基準（基礎）	55	事業分離会計①（基礎）
	26	消費税等（基礎）	56	事業分離会計②（基礎）
	27	他勘定振替（基礎）	57	事業分離会計③（基礎）
	28	外貨建有価証券（基礎）	58	事業分離会計④（基礎）
	29	リース会計（基礎）	59	事業分離会計⑤（基礎）
	30	証券投資信託（基礎）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論基礎Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（基礎）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（基礎）
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（基礎）
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④（基礎）
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（基礎）
	6	分配可能額①（基礎）
	7	分配可能額②（基礎）
	8	分配可能額③（基礎）
	9	分配可能額④（基礎）
	10	分配可能額⑤（基礎）
	11	ストック・オプション①（基礎）
	12	ストック・オプション②（基礎）
	13	ストック・オプション③（基礎）
	14	ストック・オプション④（基礎）
	15	ストック・オプション⑤（基礎）
	16	セール&リースバック①（基礎）
	17	セール&リースバック②（基礎）
	18	セール&リースバック③（基礎）
	19	セール&リースバック④（基礎）
	20	セール&リースバック⑤（基礎）
	21	財務諸表等規則①（基礎）
	22	財務諸表等規則②（基礎）
	23	財務諸表等規則③（基礎）
	24	財務諸表等規則④（基礎）
	25	財務諸表等規則⑤（基礎）
	26	負債①（基礎）
	27	負債②（基礎）
	28	負債③（基礎）
	29	負債④（基礎）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	金利スワップ①（入門）
	2	金利スワップ②（入門）
	3	金利スワップ③（入門）
	4	金利スワップ④（入門）
	5	金利スワップ⑤（入門）
	6	資産及び負債の貸借対照表能力①（入門）
	7	資産及び負債の貸借対照表能力②（入門）
	8	資産及び負債の貸借対照表能力③（入門）
	9	資産及び負債の貸借対照表能力④（入門）
	10	資産及び負債の貸借対照表能力⑤（入門）
	11	投資のリスクからの解放①（入門）
	12	投資のリスクからの解放②（入門）
	13	投資のリスクからの解放③（入門）
	14	投資のリスクからの解放④（入門）
	15	投資のリスクからの解放⑤（入門）
	16	配分と評価①（入門）
	17	配分と評価②（入門）
	18	配分と評価③（入門）
	19	配分と評価④（入門）
	20	配分と評価⑤（入門）
	21	収益認識①（入門）
	22	収益認識②（入門）
	23	収益認識③（入門）
	24	収益認識④（入門）
	25	収益認識⑤（入門）
	26	組織再①（入門）
	27	組織再②（入門）
	28	組織再③（入門）
	29	組織再④（入門）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	会社法の入門・基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門・基礎）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門・基礎）
	3	分配可能額①（入門・基礎）
	4	分配可能額②（入門・基礎）
	5	ストック・オプション①（入門・基礎）
	6	ストック・オプション②（入門・基礎）
	7	セール&リースバック①（入門・基礎）
	8	セール&リースバック②（入門・基礎）
	9	財務諸表等規則①（入門・基礎）
	10	財務諸表等規則②（入門・基礎）
	11	負債①（入門・基礎）
	12	負債②（入門・基礎）
	13	負債③（入門・基礎）
	14	純資産会計①（入門・基礎）
	15	純資産会計②（入門・基礎）
	16	純資産会計③（入門・基礎）
	17	企業結合会計①（入門・基礎）
	18	企業結合会計②（入門・基礎）
	19	企業結合会計③（入門・基礎）
	20	事業分離会計①（入門・基礎）
	21	事業分離会計②（入門・基礎）
	22	事業分離会計③（入門・基礎）
	23	四半期財務諸表①（入門・基礎）
	24	四半期財務諸表②（入門・基礎）
	25	ヘッジ会計①（入門・基礎）
	26	ヘッジ会計②（入門・基礎）
	27	包括利益①（入門・基礎）
	28	包括利益②（入門・基礎）
	29	包括利益③（入門・基礎）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務諸表論総合Ⅰ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）		
履修年次	1年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
単位数	6単位		
授業回数	90回		
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1～2	財務諸表論総まとめ①（入門）	61～62 総合問題対策⑪（入門）
	3～4	財務諸表論総まとめ②（入門）	63～64 総合問題対策⑫（入門）
	5～6	財務諸表論総まとめ③（入門）	65～66 総合問題対策⑬（入門）
	7～8	財務諸表論総まとめ④（入門）	67～68 総合問題対策⑭（入門）
	9～10	財務諸表論総まとめ⑤（入門）	69～70 総合問題対策⑮（入門）
	11～12	財務諸表論総まとめ⑥（入門）	71～72 総合問題対策⑯（入門）
	13～14	財務諸表論総まとめ⑦（入門）	73～74 総合問題対策⑰（入門）
	15～16	財務諸表論総まとめ⑧（入門）	75～76 総合問題対策⑱（入門）
	17～18	財務諸表論総まとめ⑨（入門）	77～78 総合問題対策⑲（入門）
	19～20	財務諸表論総まとめ⑩（入門）	79～80 総合問題対策⑳（入門）
	21～22	財務諸表論総まとめ⑪（入門）	81～82 総合問題対策㉑（入門）
	23～24	財務諸表論総まとめ⑫（入門）	83～84 総合問題対策㉒（入門）
	25～26	財務諸表論総まとめ⑬（入門）	85～86 総合問題対策㉓（入門）
	27～28	財務諸表論総まとめ⑭（入門）	87～88 総合問題対策㉔（入門）
	29～30	財務諸表論総まとめ⑮（入門）	89 模擬試験（計算）
	31～32	財務諸表論総まとめ⑯（入門）	90 模擬試験（理論）
	33～34	財務諸表論総まとめ⑰（入門）	
	35～36	財務諸表論総まとめ⑱（入門）	
	37～38	財務諸表論総まとめ⑲（入門）	
	39～40	財務諸表論総まとめ⑳（入門）	
	41～42	総合問題対策①（入門）	
	43～44	総合問題対策②（入門）	
	45～46	総合問題対策③（入門）	
	47～48	総合問題対策④（入門）	
	49～50	総合問題対策⑤（入門）	
	51～52	総合問題対策⑥（入門）	
	53～54	総合問題対策⑦（入門）	
	55～56	総合問題対策⑧（入門）	
	57～58	総合問題対策⑨（入門）	
	59～60	総合問題対策⑩（入門）	
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）		
履修年次	1 年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
単位数	6 単位		
授業回数	9 0 回		
授業概要	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1～2	財務諸表論総まとめ①（入門・基礎）	61～62 総合問題対策⑪（入門・基礎）
	3～4	財務諸表論総まとめ②（入門・基礎）	63～64 総合問題対策⑫（入門・基礎）
	5～6	財務諸表論総まとめ③（入門・基礎）	65～66 総合問題対策⑬（入門・基礎）
	7～8	財務諸表論総まとめ④（入門・基礎）	67～68 総合問題対策⑭（入門・基礎）
	9～10	財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎）	69～70 総合問題対策⑮（入門・基礎）
	11～12	財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎）	71～72 総合問題対策⑯（入門・基礎）
	13～14	財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎）	73～74 総合問題対策⑰（入門・基礎）
	15～16	財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎）	75～76 総合問題対策⑱（入門・基礎）
	17～18	財務諸表論総まとめ⑨（入門・基礎）	77～78 総合問題対策⑲（入門・基礎）
	19～20	財務諸表論総まとめ⑩（入門・基礎）	79～80 総合問題対策⑳（入門・基礎）
	21～22	財務諸表論総まとめ⑪（入門・基礎）	81～82 総合問題対策㉑（入門・基礎）
	23～24	財務諸表論総まとめ⑫（入門・基礎）	83～84 総合問題対策㉒（入門・基礎）
	25～26	財務諸表論総まとめ⑬（入門・基礎）	85～86 総合問題対策㉓（入門・基礎）
	27～28	財務諸表論総まとめ⑭（入門・基礎）	87～88 総合問題対策㉔（入門・基礎）
	29～30	財務諸表論総まとめ⑮（入門・基礎）	89 模擬試験（計算）
	31～32	財務諸表論総まとめ⑯（入門・基礎）	90 模擬試験（理論）
	33～34	財務諸表論総まとめ⑰（入門・基礎）	
	35～36	財務諸表論総まとめ⑱（入門・基礎）	
	37～38	財務諸表論総まとめ⑲（入門・基礎）	
	39～40	財務諸表論総まとめ⑳（入門・基礎）	
	41～42	総合問題対策①（入門・基礎）	
	43～44	総合問題対策②（入門・基礎）	
	45～46	総合問題対策③（入門・基礎）	
	47～48	総合問題対策④（入門・基礎）	
	49～50	総合問題対策⑤（入門・基礎）	
	51～52	総合問題対策⑥（入門・基礎）	
	53～54	総合問題対策⑦（入門・基礎）	
	55～56	総合問題対策⑧（入門・基礎）	
	57～58	総合問題対策⑨（入門・基礎）	
	59～60	総合問題対策⑩（入門・基礎）	
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の考え方を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）
	4	課税の対象③（入門編）
	5	課税の対象④（入門編）
	6	非課税①（入門編）
	7	非課税②（入門編）
	8	非課税③（入門編）
	9	非課税④（入門編）
	10	輸出免税等①（入門編）
	11	輸出免税等②（入門編）
	12	輸出免税等③（入門編）
	13	輸出免税等④（入門編）
	14	資産の譲渡等の時期（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	消費税法入門Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）		
履修年次	1 年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
単位数	3 単位		
授業回数	4 5 回		
授業概要	控除税額を中心とした考え方を学習する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	控除対象仕入税額①（入門編）	31 課税期間における課税売上高①（入門編）
	2	控除対象仕入税額②（入門編）	32 課税期間における課税売上高②（入門編）
	3	控除対象仕入税額③（入門編）	33 課税期間における課税売上高③（入門編）
	4	控除対象仕入税額④（入門編）	34 課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	5	控除対象仕入税額⑤（入門編）	35 課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	6	控除対象仕入税額⑥（入門編）	36 課税売上割合に準ずる割合③（入門編）
	7	売上げに係る対価の返還等①（入門編）	37 仕入れに係る対価の返還等①（入門編）
	8	売上げに係る対価の返還等②（入門編）	38 仕入れに係る対価の返還等②（入門編）
	9	売上げに係る対価の返還等③（入門編）	39 仕入れに係る対価の返還等③（入門編）
	10	貸倒れが生じた場合①（入門編）	40 納税義務の免除①（入門編）
	11	貸倒れが生じた場合②（入門編）	41 納税義務の免除②（入門編）
	12	貸倒れが生じた場合③（入門編）	42 納税義務の免除③（入門編）
	13	課税仕入れの範囲①（入門編）	43 納税義務の免除④（入門編）
	14	課税仕入れの範囲②（入門編）	44 納税義務の免除⑤（入門編）
	15	課税仕入れの範囲③（入門編）	45 確認テスト(理論)
	16	課税仕入れの範囲④（入門編）	
	17	課税仕入れの範囲⑤（入門編）	
	18	課税仕入れの範囲⑥（入門編）	
	19	課税仕入れ等の時期①（入門編）	
	20	課税仕入れ等の時期②（入門編）	
	21	課税仕入れ等の時期③（入門編）	
	22	課税仕入れ等の時期④（入門編）	
	23	課税仕入れ等の時期⑤（入門編）	
	24	課税売上割合①（入門編）	
	25	課税売上割合②（入門編）	
	26	課税売上割合③（入門編）	
	27	課税売上割合④（入門編）	
	28	課税売上割合⑤（入門編）	
	29	課税売上割合⑥（入門編）	
	30	課税売上割合⑦（入門編）	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（初級編）
	3	課税の対象②（初級編）
	4	課税の対象③（初級編）
	5	課税の対象④（初級編）
	6	非課税①（初級編）
	7	非課税②（初級編）
	8	非課税③（初級編）
	9	非課税④（初級編）
	10	輸出免税等①（初級編）
	11	輸出免税等②（初級編）
	12	輸出免税等③（初級編）
	13	輸出免税等④（初級編）
	14	資産の譲渡等の時期（初級編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	消費税法基礎Ⅰ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
単位数	4単位		
授業回数	60回		
授業概要	納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特例などの考え方を学習する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	国境を越えた役務の提供①（入門編）	31 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
	2	国境を越えた役務の提供②（入門編）	32 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
	3	国境を越えた役務の提供③（入門編）	33 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③（入門編）
	4	国境を越えた役務の提供④（入門編）	34 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算④（入門編）
	5	国境を越えた役務の提供⑤（入門編）	35 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	6	中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）	36 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	7	中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）	37 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）
	8	課税仕入れ等の分類①（入門編）	38 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編）
	9	課税仕入れ等の分類②（入門編）	39 課税標準①（入門編）
	10	課税仕入れ等の分類③（入門編）	40 課税標準②（入門編）
	11	課税仕入れ等の分類④（入門編）	41 課税標準③（入門編）
	12	課税仕入れ等の分類⑤（入門編）	42 課税標準④（入門編）
	13	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（入門編）	43 課税標準⑤（入門編）
	14	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（入門編）	44 課税標準⑥（入門編）
	15	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（入門編）	45 簡易課税制度①（入門編）
	16	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）	46 簡易課税制度②（入門編）
	17	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）	47 簡易課税制度③（入門編）
	18	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）	48 簡易課税制度④（入門編）
	19	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編）	49 簡易課税制度⑤（入門編）
	20	納税義務の免除の特例①（入門編）	50 簡易課税制度⑥（入門編）
	21	納税義務の免除の特例②（入門編）	51 簡易課税制度⑦（入門編）
	22	納税義務の免除の特例③（入門編）	52 簡易課税制度⑧（入門編）
	23	納税義務の免除の特例④（入門編）	53 簡易課税制度⑨（入門編）
	24	納税義務の免除の特例⑤（入門編）	54 簡易課税制度⑩（入門編）
	25	納税義務の免除の特例⑥（入門編）	55 簡易課税制度⑪（入門編）
	26	納税義務の免除の特例⑦（入門編）	56 簡易課税制度⑫（入門編）
	27	納税義務の免除の特例⑧（入門編）	57 簡易課税制度⑬（入門編）
	28	納税義務の免除の特例⑨（入門編）	58 簡易課税制度⑭（入門編）
	29	納税義務の免除の特例⑩（入門編）	59 簡易課税制度⑮（入門編）
	30	納税義務の免除の特例⑪（入門編）	60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	消費税法基礎Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）		
履修年次	1 年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
単位数	4 単位		
授業回数	6 0 回		
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	控除対象仕入税額①（初級編）	31 納税義務の免除①（初級編）
	2	控除対象仕入税額②（初級編）	32 納税義務の免除②（初級編）
	3	控除対象仕入税額③（初級編）	33 納税義務の免除③（初級編）
	4	控除対象仕入税額④（初級編）	34 納税義務の免除④（初級編）
	5	控除対象仕入税額⑤（初級編）	35 納税義務の免除⑤（初級編）
	6	控除対象仕入税額⑥（初級編）	36 国境を越えた役務の提供①（初級編）
	7	売上げに係る対価の返還等①（初級編）	37 国境を越えた役務の提供②（初級編）
	8	売上げに係る対価の返還等②（初級編）	38 国境を越えた役務の提供③（初級編）
	9	貸倒れが生じた場合①（初級編）	39 国境を越えた役務の提供④（初級編）
	10	貸倒れが生じた場合②（初級編）	40 国境を越えた役務の提供⑤（初級編）
	11	課税仕入れの範囲①（初級編）	41 中間申告に係る納付税額の計算①（初級編）
	12	課税仕入れの範囲②（初級編）	42 中間申告に係る納付税額の計算②（初級編）
	13	課税仕入れの範囲③（初級編）	43 課税仕入れ等の分類①（初級編）
	14	課税仕入れの範囲④（初級編）	44 課税仕入れ等の分類②（初級編）
	15	課税仕入れ等の時期①（初級編）	45 課税仕入れ等の分類③（初級編）
	16	課税仕入れ等の時期②（初級編）	46 課税仕入れ等の分類④（初級編）
	17	課税仕入れ等の時期③（初級編）	47 課税仕入れ等の分類⑤（初級編）
	18	課税仕入れ等の時期④（初級編）	48 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（初級編）
	19	課税売上割合①（初級編）	49 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（初級編）
	20	課税売上割合②（初級編）	50 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（初級編）
	21	課税売上割合③（初級編）	51 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編）
	22	課税売上割合④（初級編）	52 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編）
	23	課税売上割合⑤（初級編）	53 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（初級編）
	24	課税売上割合⑥（初級編）	54 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（初級編）
	25	課税期間における課税売上高①（初級編）	55 納税義務の免除の特例①（初級編）
	26	課税期間における課税売上高②（初級編）	56 納税義務の免除の特例②（初級編）
	27	課税売上割合に準ずる割合①（初級編）	57 納税義務の免除の特例③（初級編）
	28	課税売上割合に準ずる割合②（初級編）	58 納税義務の免除の特例④（初級編）
	29	仕入れに係る対価の返還等①（初級編）	59 納税義務の免除の特例⑤（初級編）
	30	仕入れに係る対価の返還等②（初級編）	60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算（初級編）①
	2	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算（初級編）②
	3	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算（初級編）③
	4	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編）
	5	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編）
	6	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（初級編）
	7	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④（初級編）
	8	課税標準①（初級編）
	9	課税標準②（初級編）
	10	課税標準③（初級編）
	11	課税標準④（初級編）
	12	課税標準⑤（初級編）
	13	課税標準⑥（初級編）
	14	課税標準⑦（初級編）
	15	課税標準⑧（初級編）
	16	簡易課税制度①（初級編）
	17	簡易課税制度②（初級編）
	18	簡易課税制度③（初級編）
	19	簡易課税制度④（初級編）
	20	簡易課税制度⑤（初級編）
	21	簡易課税制度⑥（初級編）
	22	簡易課税制度⑦（初級編）
	23	簡易課税制度⑧（初級編）
	24	簡易課税制度⑨（初級編）
	25	簡易課税制度⑩（初級編）
	26	簡易課税制度⑪（初級編）
	27	簡易課税制度⑫初級編）
	28	簡易課税制度⑬（初級編）
	29	簡易課税制度⑭（初級編）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

■実務家教員

○

■開講区分

後期

前期

通年

■科目区分

必修

選択必修

選択必須

選択

■授業方法

講義

演習

講義及び演習

講義及び実習

実習

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	軽減税率や複数税率などの考え方を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	軽減税率①（入門編）
	2	軽減税率②（入門編）
	3	軽減税率③（入門編）
	4	軽減税率④（入門編）
	5	軽減税率⑤（入門編）
	6	軽減税率⑥（入門編）
	7	旧税率に関する経過措置①（入門編）
	8	旧税率に関する経過措置②（入門編）
	9	旧税率に関する経過措置③（入門編）
	10	旧税率に関する経過措置④（入門編）
	11	旧税率に関する経過措置⑤（入門編）
	12	旧税率に関する経過措置⑥（入門編）
	13	複数税率の場合の計算①（入門編）
	14	複数税率の場合の計算②（入門編）
	15	複数税率の場合の計算③（入門編）
	16	複数税率の場合の計算④（入門編）
	17	複数税率の場合の計算⑤（入門編）
	18	複数税率の場合の計算⑥（入門編）
	19	国等に対する特例①（入門編）
	20	国等に対する特例②（入門編）
	21	国等に対する特例③（入門編）
	22	国等に対する特例④（入門編）
	23	国等に対する特例⑤（入門編）
	24	国等に対する特例⑥（入門編）
	25	国等に対する特例⑦（入門編）
	26	国等に対する特例⑧（入門編）
	27	特殊項目①（事業承継があった場合の控除税額の調整等）（入門編）
	28	特殊項目②（後期又は翌期が免税事業者である場合の留意点）（入門編）
	29	特殊項目③（税抜経理方式）（入門編）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	6単位	
授業回数	90回	
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1～14	個別問題対策①～⑭（初級編）
	15～27	理論問題対策①～⑬（初級編）
	28～70	総合問題対策①～④③（初級編）
	71～72	総合問題演習①（初級編）
	73～74	総合問題演習②（初級編）
	75～76	総合問題演習③（初級編）
	77～78	総合問題演習④（初級編）
	79～80	総合問題演習⑤（初級編）
	81～82	総合問題演習⑥（初級編）
	83～84	総合問題演習⑦（初級編）
	85～86	総合問題演習⑧（初級編）
	87～88	総合問題演習⑨（初級編）
	89～90	総合問題演習⑩（初級編）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の考え方を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）
	4	非課税①（入門編）
	5	非課税②（入門編）
	6	輸出免税等①（入門編）
	7	輸出免税等②（入門編）
	8	資産の譲渡等の時期（入門編）
	9	控除対象仕入税額①（入門編）
	10	控除対象仕入税額②（入門編）
	11	売上に係る対価の返還等（入門編）
	12	貸倒れが生じた場合（入門編）
	13	課税仕入れの範囲①（入門編）
	14	課税仕入れの範囲②（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の処理方法を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（初級編）
	3	課税の対象②（初級編）
	4	非課税①（初級編）
	5	非課税②（初級編）
	6	輸出免税等①（初級編）
	7	輸出免税等②（初級編）
	8	資産の譲渡等の時期（初級編）
	9	控除対象仕入税額①（初級編）
	10	控除対象仕入税額②（初級編）
	11	売上げに係る対価の返還等（初級編）
	12	貸倒れが生じた場合（初級編）
	13	課税仕入れの範囲①（初級編）
	14	課税仕入れの範囲②（初級編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした考え方を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の時期①（入門編）
	2	課税仕入れ等の時期②（入門編）
	3	課税売上割合①（入門編）
	4	課税売上割合②（入門編）
	5	課税期間における課税売上高①（入門編）
	6	課税期間における課税売上高②（入門編）
	7	課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	8	課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	9	仕入れに係る対価の返還等（入門編）
	10	納税義務の免除（入門編）
	11	国境を越えた役務の提供①（入門編）
	12	国境を越えた役務の提供②（入門編）
	13	国境を越えた役務の提供③（入門編）
	14	中間申告に係る納付税額の計算（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした処理方法を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の時期①（初級編）
	2	課税仕入れ等の時期②（初級編）
	3	課税売上割合①（初級編）
	4	課税売上割合②（初級編）
	5	課税期間における課税売上高①（初級編）
	6	課税期間における課税売上高②（初級編）
	7	課税売上割合に準ずる割合①（初級編）
	8	課税売上割合に準ずる割合②（初級編）
	9	仕入れに係る対価の返還等（初級編）
	10	納税義務の免除（初級編）
	11	国境を越えた役務の提供①（初級編）
	12	国境を越えた役務の提供②（初級編）
	13	国境を越えた役務の提供③（初級編）
	14	中間申告に係る納付税額の計算（初級編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例の考え方を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の分類①（入門編）
	2	課税仕入れ等の分類②（入門編）
	3	課税仕入れ等の分類③（入門編）
	4	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（入門編）
	5	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	6	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	7	納税義務の免除の特例①（入門編）
	8	納税義務の免除の特例②（入門編）
	9	納税義務の免除の特例③（入門編）
	10	納税義務の免除の特例④（入門編）
	11	納税義務の免除の特例⑤（入門編）
	12	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
	13	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
	14	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（入門編）
	15	課税標準①（入門編）
	16	課税標準②（入門編）
	17	簡易課税制度①（入門編）
	18	簡易課税制度②（入門編）
	19	簡易課税制度③（入門編）
	20	簡易課税制度④（入門編）
	21	軽減税率①（入門編）
	22	軽減税率②（入門編）
	23	旧税率に関する経過措置①（入門編）
	24	旧税率に関する経過措置②（入門編）
	25	複数税率の場合の計算①（入門編）
	26	複数税率の場合の計算②（入門編）
	27	国等に対する特例①（入門編）
	28	国等に対する特例②（入門編）
	29	特殊項目③（税抜経理方式）（入門編）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした処理方法を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の分類①（初級編）
	2	課税仕入れ等の分類②（初級編）
	3	課税仕入れ等の分類③（初級編）
	4	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（初級編）
	5	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編）
	6	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編）
	7	納税義務の免除の特例①（初級編）
	8	納税義務の免除の特例②（初級編）
	9	納税義務の免除の特例③（初級編）
	10	納税義務の免除の特例④（初級編）
	11	納税義務の免除の特例⑤（初級編）
	12	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（初級編）
	13	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（初級編）
	14	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（初級編）
	15	課税標準①（初級編）
	16	課税標準②（初級編）
	17	簡易課税制度①（初級編）
	18	簡易課税制度②（初級編）
	19	簡易課税制度③（初級編）
	20	簡易課税制度④（初級編）
	21	軽減税率①（初級編）
	22	軽減税率②（初級編）
	23	旧税率に関する経過措置①（初級編）
	24	旧税率に関する経過措置②（初級編）
	25	複数税率の場合の計算①（初級編）
	26	複数税率の場合の計算②（初級編）
	27	国等に対する特例①（初級編）
	28	国等に対する特例②（初級編）
	29	特殊項目③（税抜経理方式）（初級編）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	消費税法速習総合 I		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）		
履修年次	1 年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
単位数	3 単位		
授業回数	4 5 回		
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る		
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	総合問題対策①（初級編）	31 総合問題対策㉑（初級編）
	2	総合問題対策②（初級編）	32 総合問題対策㉒（初級編）
	3	総合問題対策③（初級編）	33 総合問題対策㉓（初級編）
	4	総合問題対策④（初級編）	34 総合問題対策㉔（初級編）
	5	総合問題対策⑤（初級編）	35 総合問題対策㉕（初級編）
	6	総合問題対策⑥（初級編）	36 総合問題演習①（初級編）
	7	総合問題対策⑦（初級編）	37 総合問題演習①（初級編）
	8	総合問題対策⑧（初級編）	38 総合問題演習②（初級編）
	9	総合問題対策⑨（初級編）	39 総合問題演習②（初級編）
	10	総合問題対策⑩（初級編）	40 総合問題演習③（初級編）
	11	総合問題対策⑪（初級編）	41 総合問題演習③（初級編）
	12	総合問題対策⑫（初級編）	42 総合問題演習④（初級編）
	13	総合問題対策⑬（初級編）	43 総合問題演習④（初級編）
	14	総合問題対策⑭（初級編）	44 総合問題演習⑤（初級編）
	15	総合問題対策⑮（初級編）	45 総合問題演習⑤（初級編）
	16	総合問題対策⑯（初級編）	
	17	総合問題対策⑰（初級編）	
	18	総合問題対策⑱（初級編）	
	19	総合問題対策⑲（初級編）	
	20	総合問題対策⑳（初級編）	
	21	総合問題対策㉑（初級編）	
	22	総合問題対策㉒（初級編）	
	23	総合問題対策㉓（初級編）	
	24	総合問題対策㉔（初級編）	
	25	総合問題対策㉕（初級編）	
	26	総合問題対策㉖（初級編）	
	27	総合問題対策㉗（初級編）	
	28	総合問題対策㉘（初級編）	
	29	総合問題対策㉙（初級編）	
	30	総合問題対策㉚（初級編）	
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	相続税および贈与税の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（入門）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	相続税法の概要（入門）
	3	相続税法と民法（入門）
	4	相続人、代襲相続（入門）
	5	養子の子の取扱い（入門）
	6	相続の承認と放棄（入門）
	7	相続分（法定相続分、代襲相続分）（入門）
	8	遺言による財産の取得（入門）
	9	相続税の納税義務者（入門）
	10	生命保険金等（入門）
	11	相続税の非課税財産（入門）
	12	相続税額の計算方法（入門）
	13	生命保険金等の非課税金額（入門）
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（入門）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	相続税法入門Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）		
履修年次	1 年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
単位数	3 単位		
授業回数	4 5 回		
授業概要	相続税、贈与税の入門的な問題の理解		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	贈与税の概要（入門）	31 貸宅地（入門）
	2	贈与税の納税義務者（入門）	32 貸家建付地（入門）
	3	弔慰金等（入門）	33 貸家建付借地権（入門）
	4	債務控除（入門）	34 貸家（入門）
	5	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（入門）	35 一般動産（入門）
	6	相続時精算課税適用財産（入門）	36 たな卸商品等（入門）
	7	生前贈与加算相続税の総額（入門）	37 書画骨とう品（入門）
	8	算出相続税額の計算（入門）	38 預貯金（入門）
	9	相続税額の加算（入門）	39 上場株式（入門）
	10	贈与税額控除（暦年）（入門）	40 構築物（入門）
	11	配偶者の税額軽減（入門）	41 貸付金債権等（入門）
	12	未成年者控除（入門）	42 受取手形等（入門）
	13	障害者控除（入門）	43 間口が狭小な宅地等（入門）
	14	確認テスト①(理論)	44 角切り宅地の間口距離（入門）
	15	特定納税義務者（入門）	45 確認テスト②(理論)
	16	特定納税義務者の債務控除（入門）	
	17	特定納税義務者の障害者控除（入門）	
	18	贈与税額控除（精算）（入門）	
	19	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（入門）	
	20	自用家屋（入門）	
	21	家屋と構造上一体となっている設備（入門）	
	22	特別養子制度（入門）	
	23	生命保険契約に関する権利（入門）	
	24	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（入門）	
	25	法定相続人の数（入門）	
	26	本来の財産（入門）	
	27	自用地（路線に 2 以上の路線価が付されている宅地）（入門）	
	28	地区区分の異なる宅地（入門）	
	29	側方路線等に宅地の一部が接している場合（入門）	
	30	普通借地権（自用借地権）（入門）	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	相続税法の概要（基礎）
	3	相続税法と民法（基礎）
	4	相続人、代襲相続（基礎）
	5	養子の子の取扱い（基礎）
	6	相続の承認と放棄（基礎）
	7	相続分（法定相続分、代襲相続分）（基礎）
	8	遺言による財産の取得（基礎）
	9	相続税の納税義務者（基礎）
	10	生命保険金等（基礎）
	11	相続税の非課税財産（基礎）
	12	相続税額の計算方法（基礎）
	13	生命保険金等の非課税金額（基礎）
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（基礎）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科１年制学科（夜間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	４単位			
授業回数	６０回			
授業概要	相続税、贈与税の入門的な知識を網羅し文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	１	使用貸借により借り受けた宅地等(基礎)	31	地積規模の大きな宅地(基礎)
	２	使用貸借により貸し付けられた宅地等(基礎)	32	がけ地等を有する宅地(基礎)
	３	使用貸借により貸し付けられた家屋(基礎)	33	旗竿状の宅地等(基礎)
	４	小規模宅地等の減額①(基礎)	34	容積率の異なる宅地(基礎)
	５	小規模宅地等の減額②(基礎)	35	都市計画道路予定地の区域内にある宅地(基礎)
	６	小規模宅地等の減額③(基礎)	36	確認テスト②(理論)
	７	小規模宅地等の減額④(基礎)	37	私道の用に供されている宅地(基礎)
	８	小規模宅地等の減額⑤(基礎)	38	セットバックを必要とする宅地(基礎)
	９	小規模宅地等の減額⑥(基礎)	39	上場株式（権利落）(基礎)
	10	確認テスト①(理論)	40	株式の割り当てを受ける権利(基礎)
	11	取引相場のない株式①(基礎)	41	宅地等の評価単位(基礎)
	12	取引相場のない株式②(基礎)	42	純農地、中間農地、純山林、中間山林(基礎)
	13	取引相場のない株式③(基礎)	43	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林(基礎)
	14	取引相場のない株式④(基礎)	44	立木、立木の評価減(基礎)
	15	取引相場のない株式⑤(基礎)	45	配当期待権(基礎)
	16	取引相場のない株式⑥(基礎)	46	贈与税が課税される場合(基礎)
	17	取引相場のない株式⑦(基礎)	47	相続税が課税される場合(基礎)
	18	取引相場のない株式⑧(基礎)	48	負担付遺贈・贈与(基礎)
	19	取引相場のない株式⑨(基礎)	49	贈与税の非課税財産(基礎)
	20	取引相場のない株式⑩(基礎)	50	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)
	21	取引相場のない株式⑪(基礎)	51	契約者貸付金等がある場合の保険金(基礎)
	22	取引相場のない株式⑫(基礎)	52	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例(基礎)
	23	取引相場のない株式⑬(基礎)	53	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)
	24	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等(基礎)	54	証券投資信託受益証券(基礎)
	25	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地(基礎)	55	ゴルフ会員権(基礎)
	26	相当の地代を支払っている場合の借地権(基礎)	56	不動産投資信託証券(基礎)
	27	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地(基礎)	57	措法７０の非課税(基礎)
	28	利用区分が異なる建物(基礎)	58	権利義務の承継(基礎)
	29	建築中の家屋(基礎)	59	贈与税の配偶者控除(基礎)
	30	不整形地(基礎)	60	確認テスト③(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）			
履修年次	1 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4 単位			
授業回数	6 0 回			
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	贈与税の概要（基礎）、贈与税の納税義務者（基礎）	31	小規模宅地等の減額①（基礎）
	2	弔慰金等（基礎）、債務控除（基礎）	32	小規模宅地等の減額②（基礎）
	3	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎）	33	小規模宅地等の減額③（基礎）
	4	相続時精算課税適用財産（基礎）等	34	小規模宅地等の減額④（基礎）
	5	算出相続税額の計算（基礎）、相続税額の加算（基礎）	35	小規模宅地等の減額⑤（基礎）
	6	贈与税額控除（暦年）（基礎）、配偶者の税額軽減（基礎）	36	小規模宅地等の減額⑥（基礎）
	7	未成年者控除（基礎）、障害者控除（基礎）	37	確認テスト③(理論)
	8	確認テスト①(理論)	38	取引相場のない株式①（基礎）
	9	特定納税義務者（基礎）	39	取引相場のない株式②（基礎）
	10	特定納税義務者の債務控除（基礎）等	40	取引相場のない株式③（基礎）
	11	贈与税額控除（精算）（基礎）	41	取引相場のない株式④（基礎）
	12	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎）	42	取引相場のない株式⑤（基礎）
	13	自家用屋（基礎）、家屋と構造上一体となっている設備（基礎）	43	取引相場のない株式⑥（基礎）
	14	特別養子制度（基礎）、生命保険契約に関する権利（基礎）	44	取引相場のない株式⑦（基礎）
	15	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎）	45	取引相場のない株式⑧（基礎）
	16	法定相続人の数（基礎）、本来の財産（基礎）	46	取引相場のない株式⑨（基礎）
	17	自用地（路線に 2 以上の路線価が付されている宅地）（基礎）	47	取引相場のない株式⑩（基礎）
	18	地区区分の異なる宅地（基礎）	48	取引相場のない株式⑪（基礎）
	19	側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎）	49	取引相場のない株式⑫（基礎）
	20	普通借地権（自用借地権）（基礎）、貸宅地（基礎）等	50	取引相場のない株式⑬（基礎）
	21	貸家建付借地権（基礎）、貸家（基礎）	51	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎）
	22	一般動産（基礎）、たな卸商品等（基礎）	52	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎）
	23	書画骨とう品（基礎）、預貯金（基礎）	53	相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎）
	24	上場株式（基礎）、構築物（基礎）	54	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎）
	25	貸付金債権等（基礎）、受取手形等（基礎）	55	利用区分が異なる建物（基礎）、建築中の家屋（基礎）
	26	間口が狭小な宅地等（基礎）、角切り宅地の間口距離（基礎）	56	不整形地（基礎）、地積規模の大きな宅地（基礎）
	27	確認テスト②(理論)	57	がけ地等を有する宅地（基礎）、旗竿状の宅地等（基礎）
	28	使用貸借により借り受けた宅地等（基礎）	58	容積率の異なる宅地（基礎）
	29	使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎）	59	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎）
	30	使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎）	60	確認テスト④(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	私道の用に供されている宅地（基礎）等（基礎）①
	2	私道の用に供されている宅地（基礎）等（基礎）②
	3	私道の用に供されている宅地（基礎）等（基礎）③
	4	上場株式（権利落等）、株式の割り当てを受ける権利（基礎）①
	5	上場株式（権利落等）、株式の割り当てを受ける権利（基礎）②
	6	宅地等の評価単位（基礎）等（基礎）①
	7	宅地等の評価単位（基礎）等（基礎）②
	8	純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎）①
	9	純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎）②
	10	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎）①
	11	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎）②
	12	立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎）①
	13	立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎）②
	14	贈与税が課税される場合（基礎）等①
	15	贈与税が課税される場合（基礎）等（基礎）②
	16	負担付遺贈・贈与（基礎）、贈与税の非課税財産（基礎）①
	17	負担付遺贈・贈与（基礎）、贈与税の非課税財産（基礎）②
	18	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）①
	19	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）②
	20	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎）①
	21	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎）②
	22	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）①
	23	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）②
	24	証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎）①
	25	証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎）②
	26	不動産投資信託証券（基礎）、措法 7 0 の非課税（基礎）①
	27	不動産投資信託証券（基礎）、措法 7 0 の非課税（基礎）②
	28	権利義務の承継（基礎）、贈与税の配偶者控除（基礎）①
	29	権利義務の承継（基礎）、贈与税の配偶者控除（基礎）②
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する（基礎）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利（基礎）
	2	未成年者控除・障害者控除（重ね受け）（基礎）
	3	相次相続控除（基礎）
	4	増改築等があった場合（基礎）
	5	結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）
	6	確認テスト①(理論)
	7	無道路地（基礎）
	8	定期借地権等（基礎）
	9	定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地）（基礎）
	10	土砂災害特別警戒区域内にある宅地（基礎）
	11	造成費相当額の算定（平坦地）（基礎）
	12	公社債（基礎）
	13	雇用主が保険料を負担している場合（基礎）
	14	保険金の評価（基礎）
	15	確認テスト②(理論)
	16	定期金に関する権利（基礎）
	17	保証期間付定期金に関する権利（基礎）
	18	契約に基づかない定期金に関する権利（基礎）
	19	財産の所在（基礎）
	20	贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額（基礎）
	21	相続税の外国税額控除（基礎）
	22	贈与税の外国税額控除（基礎）
	23	確認テスト③(理論)
	24	養子の子の応用的な取扱い（基礎）
	25	農地等の相続税の納税猶予（基礎）
	26	非上場株式の贈与税の納税猶予（基礎）
	27	非上場株式の相続税の納税猶予（基礎）
	28	個人の事業用資産の贈与税の納税猶予（基礎）
	29	個人の事業用資産の相続税の納税猶予（基礎）
	30	確認テスト④(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	相続税法総合Ⅰ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科１年制学科（夜間部）		
履修年次	１年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
単位数	６単位		
授業回数	９０回		
授業概要	相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	１～２	相続税法総まとめ①（基礎編）	61～62 総合問題対策⑪（基礎編）
	３～４	相続税法総まとめ②（基礎編）	63～64 総合問題対策⑫（基礎編）
	５～６	相続税法総まとめ③（基礎編）	65～66 総合問題対策⑬（基礎編）
	７～８	相続税法総まとめ④（基礎編）	67～68 総合問題対策⑭（基礎編）
	９～10	相続税法総まとめ⑤（基礎編）	69～70 総合問題対策⑮（基礎編）
	11～12	相続税法総まとめ⑥（基礎編）	71～72 総合問題対策⑯（基礎編）
	13～14	相続税法総まとめ⑦（基礎編）	73～74 総合問題対策⑰（基礎編）
	15～16	相続税法総まとめ⑧（基礎編）	75～76 総合問題対策⑱（基礎編）
	17～18	相続税法総まとめ⑨（基礎編）	77～78 総合問題対策⑲（基礎編）
	19～20	相続税法総まとめ⑩（基礎編）	79～80 総合問題対策⑳（基礎編）
	21～22	相続税法総まとめ⑪（基礎編）	81～82 総合問題対策㉑（基礎編）
	23～24	相続税法総まとめ⑫（基礎編）	83～84 総合問題対策㉒（基礎編）
	25～26	相続税法総まとめ⑬（基礎編）	85～86 総合問題対策㉓（基礎編）
	27～28	相続税法総まとめ⑭（基礎編）	87～88 総合問題対策㉔（基礎編）
	29～30	相続税法総まとめ⑮（基礎編）	89～90 総合問題対策㉕（基礎編）
	31～32	相続税法総まとめ⑯（基礎編）	
	33～34	相続税法総まとめ⑰（基礎編）	
	35～36	相続税法総まとめ⑱（基礎編）	
	37～38	相続税法総まとめ⑲（基礎編）	
	39～40	相続税法総まとめ⑳（基礎編）	
	41～42	総合問題対策①（基礎編）	
	43～44	総合問題対策②（基礎編）	
	45～46	総合問題対策③（基礎編）	
	47～48	総合問題対策④（基礎編）	
	49～50	総合問題対策⑤（基礎編）	
	51～52	総合問題対策⑥（基礎編）	
	53～54	総合問題対策⑦（基礎編）	
	55～56	総合問題対策⑧（基礎編）	
	57～58	総合問題対策⑨（基礎編）	
	59～60	総合問題対策⑩（基礎編）	
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題対策の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	法人税法の計算体系の理解を目的とする	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（初級）
	2	納税義務者（初級）
	3	課税所得の範囲（初級）
	4	交際費等の損金不算入Ⅰ（初級）
	5	減価償却Ⅰ（初級）
	6	減価償却Ⅱ（初級）
	7	減価償却Ⅲ（初級）
	8	受取配当等の益金不算入Ⅰ（初級）
	9	寄附金の損金不算入Ⅰ（初級）
	10	租税公課等（初級）
	11	納税充当金Ⅰ（初級）
	12	納税充当金Ⅱ（初級）
	13	別表四の作成（初級）
	14	事業年度（初級）
	15	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	法人税法入門Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）		
履修年次	1 年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
単位数	3 単位		
授業回数	4 5 回		
授業概要	貸倒引当金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ		
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る		
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する		
教科書	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する		
特記			
授業計画	1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31 国庫補助金等Ⅲ（基礎）
	2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32 国庫補助金等Ⅳ（基礎）
	3	貸倒損失Ⅲ（基礎）	33 別表五(一)の作成Ⅰ（基礎）
	4	貸倒損失Ⅳ（基礎）	34 別表五(一)の作成Ⅱ（基礎）
	5	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	35 別表五(一)の作成Ⅲ（基礎）
	6	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	36 別表五(一)の作成Ⅳ（基礎）
	7	貸倒引当金Ⅲ（基礎）	37 圧縮記帳Ⅰ（基礎）
	8	貸倒引当金Ⅳ（基礎）	38 圧縮記帳Ⅱ（基礎）
	9	欠損金Ⅰ（基礎）	39 圧縮記帳Ⅲ（基礎）
	10	欠損金Ⅱ（基礎）	40 圧縮記帳Ⅳ（基礎）
	11	欠損金Ⅲ（基礎）	41 圧縮記帳Ⅴ（基礎）
	12	欠損金Ⅳ（基礎）	42 圧縮記帳Ⅵ（基礎）
	13	外貨建取引Ⅰ（基礎）	43 圧縮記帳Ⅶ（基礎）
	14	外貨建取引Ⅱ（基礎）	44 圧縮記帳Ⅷ（基礎）
	15	外貨建取引Ⅲ（基礎）	45 確認テスト（理論）
	16	外貨建取引Ⅳ（基礎）	
	17	有価証券Ⅰ（基礎）	
	18	有価証券Ⅱ（基礎）	
	19	有価証券Ⅲ（基礎）	
	20	有価証券Ⅳ（基礎）	
	21	収用等Ⅰ（基礎）	
	22	収用等Ⅱ（基礎）	
	23	収用等Ⅲ（基礎）	
	24	収用等Ⅳ（基礎）	
	25	所得税額控除Ⅰ（基礎）	
	26	所得税額控除Ⅱ（基礎）	
	27	所得税額控除Ⅲ（基礎）	
	28	所得税額控除Ⅳ（基礎）	
	29	国庫補助金等Ⅰ（基礎）	
	30	国庫補助金等Ⅱ（基礎）	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科1年制学科（夜間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（中級）
	2	納税義務者（中級）
	3	課税所得の範囲（中級）
	4	交際費等の損金不算入Ⅰ（中級）
	5	減価償却Ⅰ（中級）
	6	減価償却Ⅱ（中級）
	7	減価償却Ⅲ（中級）
	8	受取配当等の益金不算入Ⅰ（中級）
	9	寄附金の損金不算入Ⅰ（中級）
	10	租税公課等（中級）
	11	納税充当金Ⅰ（中級）
	12	納税充当金Ⅱ（中級）
	13	別表四の作成（中級）
	14	事業年度（中級）
	15	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士本科１年制学科（夜間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	４単位			
授業回数	６０回			
授業概要	役員判定、役員給与を中心とした法人税法の体系を学ぶ			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の入門部分を学び、各体系の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	１	役員判定Ⅰ（入門）	31	保険料Ⅰ（入門）
	２	役員判定Ⅱ（入門）	32	保険料Ⅱ（入門）
	３	役員給与Ⅰ（入門）	33	設立事業年度Ⅰ（入門）
	４	役員給与Ⅱ（入門）	34	設立事業年度Ⅱ（入門）
	５	使用人給与Ⅰ（入門）	35	組織再編税制Ⅰ（入門）
	６	使用人給与Ⅱ（入門）	36	組織再編税制Ⅱ（入門）
	７	特定資産の買換えⅠ（入門）	37	工事の請負Ⅰ（入門）
	８	特定資産の買換えⅡ（入門）	38	工事の請負Ⅱ（入門）
	９	外国税額控除Ⅰ（入門）	39	修正申告Ⅰ（入門）
	10	外国税額控除Ⅱ（入門）	40	修正申告Ⅱ（入門）
	11	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（入門）	41	税効果会計Ⅰ（入門）
	12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（入門）	42	税効果会計Ⅱ（入門）
	13	みなし配当金Ⅰ（入門）	43	賃上げ・投資促進税制Ⅰ（入門）
	14	みなし配当金Ⅱ（入門）	44	賃上げ・投資促進税制Ⅱ（入門）
	15	資本等取引Ⅰ（入門）	45	スピノフ税制Ⅰ（入門）
	16	資本等取引Ⅱ（入門）	46	スピノフ税制Ⅱ（入門）
	17	交換差益Ⅰ（入門）	47	特定同族会社の特別税率Ⅰ（入門）
	18	交換差益Ⅱ（入門）	48	特定同族会社の特別税率Ⅱ（入門）
	19	別表五(二)Ⅰ（入門）	49	適用除外事業者Ⅰ（入門）
	20	別表五(二)Ⅱ（入門）	50	適用除外事業者Ⅱ（入門）
	21	リース取引Ⅰ（入門）	51	地方法人税Ⅰ（入門）
	22	リース取引Ⅱ（入門）	52	地方法人税Ⅱ（入門）
	23	繰延資産Ⅰ（入門）	53	外国子会社配当Ⅰ（入門）
	24	繰延資産Ⅱ（入門）	54	外国子会社配当Ⅱ（入門）
	25	確定決算型Ⅰ（入門）	55	借地権等Ⅰ（入門）
	26	確定決算型Ⅱ（入門）	56	借地権等Ⅱ（入門）
	27	グループ法人税制Ⅰ（入門）	57	償還差損益Ⅰ（入門）
	28	グループ法人税制Ⅱ（入門）	58	償還差損益Ⅱ（入門）
	29	資産の評価損益Ⅰ（入門）	59	未収還付税金Ⅰ（入門）
	30	資産の評価損益Ⅱ（入門）	60	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	法人税法基礎Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）		
履修年次	1 年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
単位数	4 単位		
授業回数	6 0 回		
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ		
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る		
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（基礎）
	2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（基礎）
	3	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	33 みなし配当金Ⅰ（基礎）
	4	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	34 みなし配当金Ⅱ（基礎）
	5	欠損金Ⅰ（基礎）	35 資本等取引Ⅰ（基礎）
	6	欠損金Ⅱ（基礎）	36 資本等取引Ⅱ（基礎）
	7	外貨建取引Ⅰ（基礎）	37 交換差益Ⅰ（基礎）
	8	外貨建取引Ⅱ（基礎）	38 交換差益Ⅱ（基礎）
	9	有価証券Ⅰ（基礎）	39 交換差益Ⅲ（基礎）
	10	有価証券Ⅱ（基礎）	40 別表五(二)Ⅰ（基礎）
	11	収用等Ⅰ（基礎）	41 別表五(二)Ⅱ（基礎）
	12	収用等Ⅱ（基礎）	42 別表五(二)Ⅲ（基礎）
	13	所得税額控除Ⅰ（基礎）	43 別表五(二)Ⅳ（基礎）
	14	所得税額控除Ⅱ（基礎）	44 リース取引Ⅰ（基礎）
	15	国庫補助金等Ⅰ（基礎）	45 リース取引Ⅱ（基礎）
	16	国庫補助金等Ⅱ（基礎）	46 リース取引Ⅲ（基礎）
	17	別表五(一)の作成Ⅰ（基礎）	47 リース取引Ⅳ（基礎）
	18	別表五(一)の作成Ⅱ（基礎）	48 繰延資産Ⅰ（基礎）
	19	圧縮記帳Ⅰ（基礎）	49 繰延資産Ⅱ（基礎）
	20	圧縮記帳Ⅱ（基礎）	50 繰延資産Ⅲ（基礎）
	21	役員判定Ⅰ（基礎）	51 繰延資産Ⅳ（基礎）
	22	役員判定Ⅱ（基礎）	52 確定決算型Ⅰ（基礎）
	23	役員給与Ⅰ（基礎）	53 確定決算型Ⅱ（基礎）
	24	役員給与Ⅱ（基礎）	54 確定決算型Ⅲ（基礎）
	25	使用人給与Ⅰ（基礎）	55 確定決算型Ⅳ（基礎）
	26	使用人給与Ⅱ（基礎）	56 グループ法人税制Ⅰ（基礎）
	27	特定資産の買換えⅠ（基礎）	57 グループ法人税制Ⅱ（基礎）
	28	特定資産の買換えⅡ（基礎）	58 資産の評価損益（基礎）
	29	外国税額控除Ⅰ（基礎）	59 保険料（基礎）
	30	外国税額控除Ⅱ（基礎）	60 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	各項目の応用的な部分を学び、各体系の解法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	設立事業年度（応用）①
	2	設立事業年度（応用）②
	3	設立事業年度（応用）③
	4	組織再編税制（応用）①
	5	組織再編税制（応用）②
	6	工事の請負（応用）①
	7	工事の請負（応用）②
	8	修正申告（応用）①
	9	修正申告（応用）②
	10	税効果会計（応用）①
	11	税効果会計（応用）②
	12	賃上げ・投資促進税制（応用）①
	13	賃上げ・投資促進税制（応用）②
	14	スピンオフ税制（応用）①
	15	スピンオフ税制（応用）②
	16	特定同族会社の特別税率（応用）①
	17	特定同族会社の特別税率（応用）②
	18	適用除外事業者（応用）①
	19	適用除外事業者（応用）②
	20	地方法人税（応用）①
	21	地方法人税（応用）②
	22	外国子会社配当（応用）①
	23	外国子会社配当（応用）②
	24	借地権等（応用）①
	25	借地権等（応用）②
	26	償還差損益（応用）①
	27	償還差損益（応用）②
	28	未収還付税金（応用）①
	29	未収還付税金（応用）②
	30	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法応用 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	連結納税制度等の特殊項目の学習を進める	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	連結納税制度 1（初級）
	2	連結納税制度 2（初級）
	3	連結納税制度 3（初級）
	4	連結納税制度 4（初級）
	5	連結納税制度 5（初級）
	6	連結納税制度 6（初級）
	7	連結納税制度 7（初級）
	8	連結納税制度 8（初級）
	9	連結納税制度 9（初級）
	10	連結納税制度 1 0（初級）
	11	連結納税制度 1 1（初級）
	12	連結納税制度 1 2（初級）
	13	連結納税制度 1 3（初級）
	14	連結納税制度 1 4（初級）
	15	連結納税制度 1 5（初級）
	16	連結納税制度 1 6（初級）
	17	連結納税制度 1 7（初級）
	18	連結納税制度 1 8（初級）
	19	連結納税制度 1 9（初級）
	20	連結納税制度 2 0（初級）
	21	試験研究費の特別控除 1（初級）
	22	試験研究費の特別控除 2（初級）
	23	試験研究費の特別控除 3（初級）
	24	試験研究費の特別控除 4（初級）
	25	資産除去債務 1（初級）
	26	資産除去債務 2（初級）
	27	資産除去債務 3（初級）
	28	解散税制 1（初級）
	29	解散税制 2（初級）
	30	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科１年制学科（夜間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	６単位	
授業回数	９０回	
授業概要	法人税法の計算体系の知識習得を目的とする	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1～70	総合問題対策１～７０（初級）
	71	総合問題演習１（初級：計算）
	72	総合問題演習１（初級：理論）
	73	総合問題演習２（初級：計算）
	74	総合問題演習２（初級：理論）
	75	総合問題演習３（初級：計算）
	76	総合問題演習３（初級：理論）
	77	総合問題演習４（初級：計算）
	78	総合問題演習４（初級：理論）
	79	総合問題演習５（初級：計算）
	80	総合問題演習５（初級：理論）
	81	総合問題演習６（初級：計算）
	82	総合問題演習６（初級：理論）
	83	総合問題演習７（初級：計算）
	84	総合問題演習７（初級：理論）
	85	総合問題演習８（初級：計算）
	86	総合問題演習８（初級：理論）
	87	総合問題演習９（初級：計算）
	88	総合問題演習９（初級：理論）
	89	総合問題演習１０（初級：計算）
	90	総合問題演習１０（初級：理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法基礎Ⅰ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士本科１年制学科（夜間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	２単位	
授業回数	３０回	
授業概要	納税義務の確定から滞納までの流れを中心的に学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、入門問題を読解できるようにする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	税務実務経験を持つ教員による講義	
授業計画	１	国税徴収法の目的（入門）
	２	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（入門）
	３	強制換価手続（入門）
	４	担保の種類（入門）
	５	滞納処分の概要（入門）
	６	国税に優先する権利（入門）
	７	国税相互間の優先関係（入門）
	８	財産の調査（入門）
	９	最優先される被担保債権（入門）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（入門）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（入門）
	12	不動産賃貸の先取特権等（入門）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定等）（入門）
	14	譲受前にある担保権（入門）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（入門）
	16	差押の制限等、解除（入門）
	17	差押の共通手続（入門）
	18	第三者からの差押換え（入門）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（入門）
	20	相続人からの差押換え（入門）
	21	動産又は有価証券の差押え（入門）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（入門）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（入門）
	24	国税徴収法第２６条の計算（入門）
	25	債権の差押え（入門）
	26	不動産等の差押え（入門）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（入門）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（入門）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（入門）
	30	確認テスト（入門）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	滞納者の財産の調査方法を中心とした税法理論を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、基礎問題を読解できるようにする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的（基礎）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分（基礎）
	3	強制換価手続（基礎）
	4	担保の種類（基礎）
	5	滞納処分の概要（基礎）
	6	国税に優先する権利（基礎）
	7	国税相互間の優先関係（基礎）
	8	財産の調査（基礎）
	9	最優先される被担保債権（基礎）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（基礎）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（基礎）
	12	不動産賃貸の先取特権等（基礎）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定等）（基礎）
	14	譲受前にある担保権（基礎）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（基礎）
	16	差押の制限等、解除（基礎）
	17	差押の共通手続（基礎）
	18	第三者からの差押換え（基礎）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（基礎）
	20	相続人からの差押換え（基礎）
	21	動産又は有価証券の差押え（基礎）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（基礎）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（基礎）
	24	国税徴収法第 2 6 条の計算（基礎）
	25	債権の差押え（基礎）
	26	不動産等の差押え（基礎）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（基礎）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（基礎）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（基礎）
	30	確認テスト（基礎）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	国税徴収法速習総合 I		
実務家教員			
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）		
履修年次	1 年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
単位数	3 単位		
授業回数	4 5 回		
授業概要	交付要求、参加差押えの相違を中心とした国税徴収法の体系を学ぶ		
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める		
達成目標	的確な解法で基礎問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（基礎）	31 総合理論対策 1（基礎）
	2	交付要求及び督促時効（基礎）	32 総合理論対策 2（基礎）
	3	参加差押え（基礎）	33 総合理論対策 3（基礎）
	4	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（基礎）	34 総合理論対策 4（基礎）
	5	換価配当（基礎）	35 総合理論対策 5（基礎）
	6	担保のための仮登記（基礎）	36 総合理論対策 6（基礎）
	7	物上代位権との調整（基礎）	37 総合理論対策 7（基礎）
	8	納期限未到来の納税の猶予（基礎）	38 総合理論対策 8（基礎）
	9	災害等による一般の納税の猶予（基礎）	39 総合理論対策 9（基礎）
	10	換価の猶予（基礎）	40 総合問題演習 1（基礎）
	11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予（基礎）	41 総合問題演習 1（基礎）
	12	納税の猶予の効果、取消、短縮（基礎）	42 総合問題演習 2（基礎）
	13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（基礎）	43 総合問題演習 2（基礎）
	14	保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（基礎）	44 総合問題演習 3（基礎）
	15	国税の担保（基礎）	45 総合問題演習 3（基礎）
	16	差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（基礎）	
	17	保全措置（基礎）	
	18	滞納処分の停止（基礎）	
	19	納付委託・弁済委託（基礎）	
	20	第二次納税義務（通則）（基礎）	
	21	第二次納税義務（人的限度）（基礎）	
	22	第二次納税義務（物的限度）（基礎）	
	23	不服申立（基礎）	
	24	滞納処分費（基礎）	
	25	納付義務の承継（基礎）	
	26	質権及び抵当権の優先額の限度（基礎）	
	27	増額登記（基礎）	
	28	質権の証明と優先権行使の否認（基礎）	
	29	国税徴収法第 2 6 条準用（基礎）	
	30	差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（基礎）	
成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法速習基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	税理士本科 1 年制学科（夜間部）	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2 単位	
授業回数	3 0 回	
授業概要	租税と私債権の競合における配当計算を中心とした税法理論を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、初級問題を読解できるようにする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的（初級）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（初級）
	3	強制換価手続（初級）
	4	担保の種類（初級）
	5	滞納処分の概要（初級）
	6	国税に優先する権利（初級）
	7	国税相互間の優先関係（初級）
	8	財産の調査（初級）
	9	最優先される被担保債権（初級）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（初級）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（初級）
	12	不動産賃貸の先取特権等（初級）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定等）（初級）
	14	譲受前にある担保権（初級）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（初級）
	16	差押の制限等、解除（初級）
	17	差押の共通手続（初級）
	18	第三者からの差押換え（初級）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（初級）
	20	相続人からの差押換え（初級）
	21	動産又は有価証券の差押え（初級）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（初級）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（初級）
	24	国税徴収法第 2 6 条の計算（初級）
	25	債権の差押え（初級）
	26	不動産等の差押え（初級）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（初級）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（初級）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（初級）
	30	確認テスト（初級）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テストの結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	国税徴収法総合Ⅰ			
実務家教員	○			
学部・学科	税理士本科１年制学科（夜間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	３単位			
授業回数	４５回			
授業概要	納税の猶予を中心とした国税通則法の規定を学ぶ			
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める			
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記	税務実務経歴を持つ教員による講義を基にした演習			
授業計画	１	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例	31	総合理論対策１（初級）
	２	交付要求及び督促時効（初級）	32	総合理論対策２（初級）
	３	参加差押え（初級）	33	総合理論対策３（初級）
	４	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（初級）	34	総合理論対策４（初級）
	５	換価配当（初級）	35	総合理論対策５（初級）
	６	担保のための仮登記（初級）	36	総合理論対策６（初級）
	７	物上代位権との調整（初級）	37	総合理論対策７（初級）
	８	納期限未到来の納税の猶予（初級）	38	総合理論対策８（初級）
	９	災害等による一般の納税の猶予（初級）	39	総合理論対策９（初級）
	10	換価の猶予（初級）	40	総合問題演習１（初級）
	11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予（初級）	41	総合問題演習１（初級）
	12	納税の猶予の効果、取消、短縮（初級）	42	総合問題演習２（初級）
	13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（初級）	43	総合問題演習２（初級）
	14	保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（初級）	44	総合問題演習３（初級）
	15	国税の担保（初級）	45	総合問題演習３（初級）
	16	差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（初級）		
	17	保全措置（初級）		
	18	滞納処分の停止（初級）		
	19	納付委託・弁済委託（初級）		
	20	第二次納税義務（通則）（初級）		
	21	第二次納税義務（人的限度）（初級）		
	22	第二次納税義務（物的限度）（初級）		
	23	不服申立（初級）		
	24	滞納処分費（初級）		
	25	納付義務の承継（初級）		
	26	質権及び抵当権の優先額の限度（初級）		
	27	増額登記（初級）		
	28	質権の証明と優先権行使の否認（初級）		
	29	国税徴収法第２６条準用（初級）		
	30	差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（初級）		
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				